

平成 26 年度第 1 回日本臨床工学技士連盟理事会議事録

日時：平成 26 年 5 月 10 日（土） 11：00 ～ 12：00

場所：仙台国際センター 1 階研修室

- 出席者： 山田（熊本）、小峠（福岡）、高山（岡山）、三井（兵庫）、
山崎（大阪）、高橋（山梨）、肥田（山口）、熊切（会計担当者）
オブザーバー：佐藤（秋田）、森屋（秋田）、日比谷（愛知）、神部（愛知）
○欠席者： 上野（茨城）、山下（埼玉）、関川（東京）、門田（山口）

1. 開会

・挨拶

挨拶と自己紹介（オブザーバーを含め）が行われた。

・平成 26 年度現在までの活動報告と今後

- | | |
|----------------|--|
| 1/21 | 佐藤のぶあき面談 |
| 1/22 | 佐藤茂樹面談 |
| 2/14 | 大家さとし面談 |
| 2/27 | 集中治療学会啓発 |
| 3/11 | 厚生関係団体連絡協議会参加 麻生太郎（為公会）、溝手顕正（宏池会）、江島潔 不参加 |
| 4/3 | 梶屋敬悟の会参加 |
| 4/5 | 大家さとしの会参加 |
| 4/12 | 桜を見る会 |
| 4/20 | 香川県啓発解説 |
| 4/27 | 熊本県啓発解説 |
| 4/27 | 鹿児島補欠選挙、沖縄市長選挙の協力依頼 |
| 5/10 | 日臨工啓発解説 |
| -----以降予定----- | |
| 5/13 | 清和政策研究会 |
| 5/18 | 石川県啓発解説 |
| 5/25 | 宮崎県啓発解説 |
| 5/26 | 珠代さんを励ます会 |
| 6/1 | 広島県啓発解説 |
| 6/7 | 三重県啓発解説 |

・入会状況、収支状況の報告

現在まで会員数 331 名。入金¥287710 出金¥546027。このまま行くと破産する。

（議案）

1. 新理事の選出について

九州、中四国、近畿、甲信越は新理事が選出されたが、他のブロックは今回の日程に間に合わなかったため、継続案件として次回理事会までに確定する。新理事が整うまで現在の立ち上げ理事が任務を遂行することで確認。

北海道東北 → 秋の連絡協議会で決定の方向へ進める。

中部 → 秋の連絡協議会かそれ以前に推薦者を整える。

関東 → 次回理事会までには決定し出席していただくよう打診する（肥田）

2. 組織運営規定の策定

いつまでも（案）ではまずいので、組織運営規定（案）を理事で5/31までに精査し理事長に提出、理事内で承認後規定として運用を進める。

3. 平成26年度活動計画

(ア) 渉外

① 今後の渉外計画と活動方針について

しばらく選挙の予定もないので議員を励ます会の参加などが主な活動となる。毎週のように参加要請が届くが、予算もなく旅費も捻出できないので、可能な参加は限られてくる。

② その他

- ・連盟として当面の活動指針を示した方が伝わりやすいのではないかな？

【2014年活動指針】（仮）

1. 会員増を目指すと同時に組織構築を形成し連盟として安定した基盤を創る。
2. 政党に拘らず多方面の議員と渉外を行い、臨床工学技士を支援する超党派議員連盟の創設を目指す。

(イ) 組織

① 県担当窓口の設定について

地方選挙などの支援依頼が届いた際に、地区担当がいないと何もできないので県担当窓口を設定したい。

まず、各都道府県幹部の了承が必要ではないかな？→お願いよりも柔らかい尋ねる程度の文書を作成して各都道府県に配布してみる。（肥田）

② 達成率と目標設定

名目100%実質30%！！

③ その他組織率向上にむけての対策

日臨工や都道府県の協力を頂きながら勧誘を促すアイデアを求める。

4. その他

① 寄付や広告の応募

広告収入は違反にはならないようなので、HPに趣意書と依頼書を掲載した。ご協力お願いします。

② HPやたよりの広報

「臨工連盟新聞」は現状では年2回の発行としたい。6月と12月

③ 総会の開催について

費用面や組織の成熟度から見ても総会が開催できるほどの体質ではない。現在の規約にも掲載できていないので、しばらく総会の開催は見送る。

④ その他

5. 次回理事会開催日

平成27年1月11日（日）場所と時間は追って連絡する。